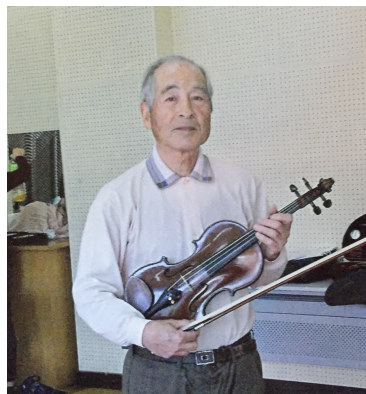


音楽と私



音楽と私

アンサンブルポニーかつしか 井上幾之介

私は、昨年喜寿を迎えた後期高齢者です。音楽との出会いは奥戸中学校時代、他校での合唱演奏会に参加した事です。その際、他校の先生のヴァイオリン演奏「アンダンテカンタービレ」・「メヌエット」などを聴き感動し、それがキッカケで、叔父が使ったヴァイオリンが有ったことを思い出し、物置部屋をかき回し、虫喰いだらけのバイオリンケース、楽譜、切れた弓と弦、小遣いを貯めて一番安い黒毛の弓に張替え、弦を買い、独学で練習を始めたのは中学3年頃だったと思います。家は農家で、敷地は広いが練習場所はなく、戸外でヤブ蚊に喰われながらの練習、かなりの雑音だったと思います。その後、隅田川高校で三年間音楽を選択、更にクラシックに興味を持つようになりました。

昭和31年、百貨店に就職。幸いにも、15人位のアンサンブルがありましたので入団し合奏を楽しむ事が出来ました。毎年の文化祭、合宿が楽しみでした。私たちの演奏は「白鳥の湖」ではなく「白鳥の水たまり」だなどとぼやいたりもししていましたが。それまで独学の悲しさ、私にとって合奏は大変なことでした。

そこで、御茶ノ水 YMCA、松橋先生のヴァイオリン教室で個人レッスンを週1回、ホームマン、カイザー、ドント、音階教則本、曲・・・週三日練習をサバると先に進めませんでしたが、20歳前後～26歳位までレッスンに通いました。レッスン最後の曲はモーツァルトのコンチェルト5番を1年かかりで仕上げ(自分なりですが)、最初で最後のソロ演奏(一楽章)、ヴィバルディの弦楽合奏「春」新宿厚生年金ホールで合同演奏を致しました。ソロはピアノ伴奏に慣れてないためドキドキ。でもカデンツァは気持ちよく弾けた記憶があります(今は難しくてダメ)。その後、アンサンブルも廃部となり、仕事也多忙、結婚など、公私共に音楽を続ける状態ではありませんでした。

平成9年5月、60歳で定年退職、9月より、立川技術専門学校で園芸科(造園)を6ヶ月学習終了し、現在シルバー人材センターで植木の手入れの仕事をしています。

翌年に葛飾区民合唱団に入団。日本の曲、メサイア、オペラ抜粋、ミュージカル、・・・イタリア語、ラテン語、ドイツ語・・・と門前の小僧で、四苦八苦、録音して丸暗記に努めました。平成12年、オルフの「カルミナ・ブラーナ」、振り付け付きで、プロのソリスト、ダンサーとの共演で、思い出多い演奏を最後に5年くらいで退団、現在はウインディアー男声合唱団、足立フレンドハーモニーで引き続きコーラスに頑張っています。

本年10月3日(土)葛飾シンフォニーヒルズ・アイリスホールでウインディアー男声合唱団、20周年記念コンサートを行います。宜しくどうぞ。

平成17年、小岩音曲堂、前田先生のヴァイオリン教室、週1回のレッスンを40数年ぶりに再開、5年位で先生が突然逝去され、またまた中断。幸いにも、平成24年「アンサンブルポニーかつしか」上原会長の誘いにより入団。指揮者の五十嵐先生や団員皆様のご指導により頑張っております。何と云っても長いブランクは取り戻せません。特にジャズはリズム感覚に乏しく苦戦しています。皆様にご迷惑を掛けないうちも頑張り良い演奏に心掛けたいと思います。当面、80歳まではアンサンブル・合唱・ゴルフ・植木の手入れの仕事、を生きがいに、年齢に負けずこれからの生活をエンジョイしたいと思います。